Newsletter

ニュースレター　2015年3月　Vol.20

株式会社Y.E.S.ESL International JAPAN
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-21-10　グランスイート虎ノ門703
TEL:03-5510-4844 / FAX:03-5510-4845
URL：www.yeseslinternational.com
E-mail：info@yesinternationaljapan.com

チュータリングサービス（マーセッド・カレッジ）

語学学校の授業後に開かれる**無料チュータリングサービス**（個別指導）では、以下のような生徒の課題に対応しています。

・語学学校の提出物をチェックしてほしい。
・カレッジ入学後に備えてエッセイのチェックをしてもらいたい。
・追加の課題がほしい。
・日常会話での表現方法を知りたい。

その他にも、生徒のレベルに応じた個別の学習計画の作成なども行っており、カレッジ入学基準のTOEFLスコア取得に不安のある生徒、既にカレッジ入学の為のTOEFLスコアを取得し入学後の準備を始めたい生徒、両方の生徒に対応できるのが、このチュータリングサービスの魅力です。

TOEFL・英会話

週一回ずつ開かれるのTOEFL講座および英会話講座では、以下のような生徒を対象としています。

TOEFL講座
・語学学校内の授業だけでは不安がある。
・TOEFLをパスできる自信がない。
・より多くの時間をTOEFLの勉強に費やしたい。

英会話講座

・TOEFLはパスしたが、会話力に自信がない。
・英語を使う時間を増やしたい。
・英語での表現を教わり、ホストファミリーや友人との会話に役立てたい。

こちらの講座もチュータリングサービス同様、生徒のレベルに応じて、生徒自身が選択して参加できる仕組みになっており、意識の高い生徒が集まるのが特徴です。

講師：Mia Fleming (ミア・フレミング)

アメリカで生まれ育ち、7歳の頃に日本へ移住。日本の茨城県と神奈川県で幼少時代を過ごす。アメリカに帰国後、マーセッド・カレッジに入学。2013年にはマーセッド・カレッジのインターナショナルクラブで部長を務め、現地の学生と留学生の交流に寄与する。マーセッド大学では国際ビジネスを専攻しており、名門ペパーダイン大学へ進学予定です。ミアさんの将来の目標は、NGO等で国際的な支援活動を行うことです。

ミアさんからメッセージ：
「私は、海外で生活をするということがどれだけ困難な道かということを理解しているつもりです。しかし、その困難な道を選び、マーセッド・カレッジに英語を学びにやってくる留学生のことを、誇りに思います。チュータリングサービスやワークショップを通して、留学生たちが英語でのコミュニケーションに自信を持ってくれることを期待しています。私は日本で生活した経験がありますので、日本の文化には慣れ親しんでいますが、同時に、異なる文化を持った学生たちと交流できることを楽しみにしています。」

マーセッド・カレッジの留学生特集（2～3ページ）

アスレチックトレーナー留学記

アニマルサイエンス留学記

Copyright© All rights reserved by Y.E.S. ESL International, JAPAN

アスレチックトレーナー留学記（1）

名前：クミコ
入学：2014年夏（語学学校MCELIからスタート）
専攻：キネシオロジー（運動学）

2014年の4月にマーセッドカレッジ内の語学学校（MCELI）で大学入学条件のTOEFLスコアを取得した後、8月からはMerced Collegeで授業を受けながら、学生トレーナーとしてカレッジ内にあるトレーナールームに通っています。

私がアスレチックトレーナーを目指してマーセッド・カレッジに入学した理由は、ある出来事がきっかけでした。私は小学３年生から高校３年生までの９年間バレーボールをしていましたが、高校２年生の秋に行われたバレーボールの試合で、自分のチームのエースアタッカーが相手選手と接触してしまい、左膝に手術3回、全治1年4か月の大怪我を負ってしまいました。それまでの私は、高校卒業後の進路について、理学療法士の資格を取得してスポーツ選手のお世話ができればいいかな、という漠然とした考えしか持っていませんでしたが、スポーツが大好きなのに怪我でスポーツができない彼女の姿、そしてそれに対して何も手助けしてあげられない自分に悔しさを感じ、スポーツ選手のサポートを真剣に考えるようになりました。

そして、接骨院の先生や、たくさんの方にお話を伺い、自分でも色々と調べた結果、アスレチックトレーナーという職業に出会いました。

アスレチックトレーナーとは、スポーツの現場で選手が負傷したときの応急処置や傷害の評価、復帰までの手順を考えたり、カウンセラーとしての責務も背負い、怪我の予防のために働く職業です。

私はバレーボールを通してメンタルコンディションの大事さを学んだので、選手のフィジカル面とメンタル面をサポートするアスレチックトレーナーという仕事が私の将来像にぴったりでした。そして両親をはじめ、たくさんの人と相談し、アメリカでアスレチックトレーナー留学をすることを決めました。

現在、学校の勉強やトレーニングルームでの実習などで毎日忙しい日々を送っていますが、素晴らしい友達、スタッフの方々に囲まれ、アスレチックトレーナーになるという夢に向け、マーセッドでとても充実した日々を送っています。

将来の夢は、NATAのトレーナーの資格を取得後、日本に帰国し、私の妹、弟が学生スポーツで活躍しているので、その支えとなり、又オリンピックを目指して頑張っている選手やプロの選手のサポートができるようになることです。

カレッジスポーツのシーズンが開幕

春学期は、ソフトボール部、野球部、男女バスケットボール部がシーズンとなり、学生トレーナーは全員で分担し、各試合をサポートします。

ソフトボール： 選手が怪我などをした場合に、すぐに対処できるよう、フィールドのそばで待機します。試合後、アイスバッグをもらいに、又電気治療をしに来る選手が多いので、その対応を行います。

野球： 試合前に自軍と相手チーム用にアイスバッグを作ります。試合中はフィールドの脇で選手の怪我に備え、又給水作業を行います。給水タンクは頻繁に交換が必要な為、水の量やコップの数の確認は欠かせません。また、試合後には、投手用のアイスバックを直ぐに渡せるよう準備します。

バスケットボール： 試合中、選手が少しでも長く休憩ができるよう選手交代、タイムアウトごとに水やタオルを素早く渡します。選手が怪我をした際にすぐに対処できるように準備します。ハーフタイムには、タオルの交換、水の補給、選手の状態をチェックします。試合終了後、選手たちの膝にアイスバックをラップで巻く作業があり、又選手の怪我の手当てを行います。

個人がしっかりと、それぞれの競技で、自分の仕事をこなしながら、先を見越して自分から率先して動いていくことが、トレーナーにとってものすごく大切なことだと思います。

Copyright© All rights reserved by Y.E.S. ESL International, JAPAN

アニマルサイエンス留学記（1）

名前：サエ
入学：2014年夏（語学学校MCELIからスタート）
専攻：アニマルサイエンス

私は日本の高校を卒業後、すぐにマーセッド・カレッジ付属の語学学校MCELIに夏の間通い、昨年の秋学期からマーセッド大学に入学しました。専攻科目はアニマルサイエンスで、大学では専攻科目と同時に一般教養科目の授業をとっています。

マーセッド・カレッジのクラスでは、語学学校と比べてほとんど日本人がいない中で授業を受けるので、色々と大変なことも多いですが、クラスメイトや先生たちがとっても優しいので、とても良い環境で勉強することができています。

現在私はアメリカ人のご家庭にホームステイをしています。生活面でも日々アメリカの文化を体験できるので、とても刺激的です。ホームステイの良いところは、アメリカ文化の知らなかった部分を、一緒に生活をしながら学べることです。私は分からない単語などを何度もホストに聞いています。

平日は大学の授業が毎日あり、忙しい日々ですが、私は休日を利用してマーセッド市内にある動物園で、飼育係のボランティアをしています。昨年の夏からこのボランティアを始めましたが、初めは英語すらうまく話せない状況でした。そんな私でしたが、「動物が好き」な人たちと一緒に働くことで動物についての知識などをたくさん教えてもらい少しずつ英語力もついてきました。とは言っても、まだまだ伝わらない時もたくさんあるので、日々努力あるのみです。これからも頑張ります！

クラス紹介 ～ヒツジの飼育～

１月からマーセッド・カレッジの春学期が始まりました。私は今回、専攻であるアニマルサイエンスのクラスを２つ履修しています。動物の栄養学についてのクラス（Animal Nutrition）と、家畜をお世話して商品にするための実習のクラス（Merchandising Livestock）です。他にも、マーセッド・カレッジのアニマルサイエンスには、家畜生産についてのクラス、実践馬術のクラスや酪農業のクラスなどがあります。

大学の農場には、ウシ、ヒツジ、ヤギ、ブタの家畜動物がおり（春学期には馬もいます）、農場はとっても広く、どの家畜も２０～４０頭が飼育されています。

実習クラスの内容

初日のクラスでは、先生から、このクラスの内容についての説明と、実習で使用する農場についての説明がありました。二回目のクラスからは学生が農場に集まり、一人一頭ずつ、このセメスターの間、自分がお世話をする動物をウシ、ヒツジ、ヤギの中から、自分で選びます。今回、私は人生で初めてヒツジのお世話をすることになりました。

去年もこのクラスを取っていた学生が、慣れた手つきでヒツジ達を一頭ずつ並べてくれて、その中から自分が気に入ったヒツジを選びます。先生が「仔ヒツジは大人のヒツジよりもお世話が大変だよ。」と教えてくれたのですが、仔ヒツジは小さくてとても可愛かったので、私は仔ヒツジを選びました。

ヒツジの散歩

全員が一通り自分のヒツジを選び終えたところで、ヒツジ達を小屋の外へ引いて、歩かせる練習を行います。先生が言っていた通り、仔ヒツジたちはとってもやんちゃで頑固…。なかなか歩いてくれず…と思いきや、あっちこっちに行ってしまい、大変でした…。大人のヒツジ達は真っ直ぐ歩いて、大人しくしていましたが、仔ヒツジを選んだ他の学生も、私同様に振り回されていて、大変そうでした。

まだ春セメスターは始まったばかりなので、クラスを通してヒツジのお世話の仕方などを学んでいき、私の仔ヒツジちゃんを大きくて元気に育てられるように、これから頑張ります！

Copyright© All rights reserved by Y.E.S. ESL International, JAPAN

米大学野球　サンディエゴのライバル校対決

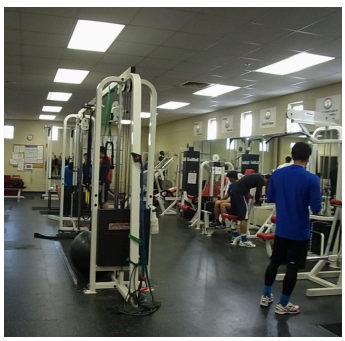
　サンディエゴの大学野球ライバル校同士であるサンディエゴ州立大学とサンディエゴ大学の対戦がありました。昨年、サンディエゴ州立大学は所属するマウンテンウエストリーグで優勝し全米大会に出場、6月には6名の選手がMLBドラフトで指名を受けプロ球団に進みました。今年は3名のドラフト指名選手を含む15名の選手が入部しています。

　一方、サンディエゴ大学は昨年ピッツバーグパイレーツ1巡目指名のジョー内野手、シカゴホワイトソックス6巡目指名のレキチ外野手など計7名がMLB球団からドラフト指名を受けました。今年はMLBドラフト指名を受けた6名の選手がプロ入りを拒否してサンディエゴ大学に進んでおり、今年の選手リクルートの業績は全米大学野球部のなかで4位にランクされています。

　1回裏、サンディエゴ州立大学が3番打者フランスのスクイズで先制するとすぐにサンディエゴ大学もスクイズを絡めて逆転します。9回表にサンディエゴ大学が4–4の同点として、試合は延長戦へ。延長13回裏、2死満塁からワイリーが四球を選びサヨナラ押し出しでサンディエゴ州立大学が勝利しました。

　サンディエゴ州立大学とサンディエゴ大学はまた5月に対戦する予定が組まれています。

青山学院大学野球部がテキサスレンジャーズの招待を受けアリゾナ州春季合宿遠征を実施



スプリングトレーニング中のテキサスレンジャーズの選手たちが使う施設を青学大の選手たちも使用してトレーニングをしています。

ダルビッシュ投手などレンジャーズのメジャーリーグ選手たちのトレーニングの後はマイナーリーグの選手たちが同じメニューをこなします。マイナーリーグの投手たちの中には青学大出身の冨田康祐投手もいました。冨田投手を練習を見守る青学大野球部の河原井前監督。

アリゾナ州サプライズ市のキャンプ施設はテキサスレンジャーズとカンザスシティロイヤルズがトレーニングに使用する球場施設が一緒になっています。こちらはメイン球場以外に両球団がそれぞれ６つの球場をもち、選手たちがそれぞれのフィールドでトレーニングをしています。両球団が共有しているメイン球場。

訪問日にレンジャーズの紅白戦が行われ、ダルビッシュ投手が登板。青学大の選手たちもダルビッシュ投手の投球を見学しました。

ダルビッシュ投手が登板した球場の２つ横の球場では青学大が現地アリゾナの大学と交流親善試合を行いました。もう日本からの時差も感じないのか、のびのびとプレーしている選手たちが印象的でした。

試合終了時にはプレゼントを交換して記念撮影。

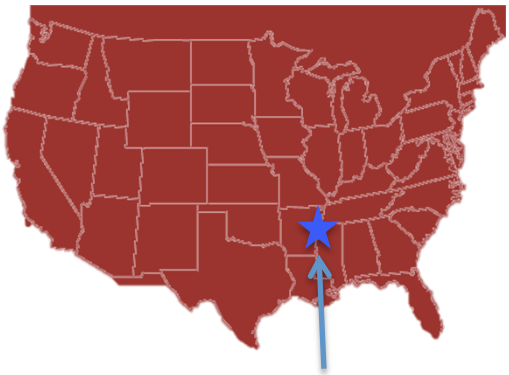
Copyright© All rights reserved by Y.E.S. ESL International, JAPAN

錦織圭選手のボランティア活動『メンフィスオープン史上初の３連覇の地で』

アメリカテネシー州メンフィスで行われたメンフィスオープンで史上初の３連覇を成し遂げた錦織選手が３年間毎年行った現地でのボランティア活動をご紹介します。

錦織選手がメンフィスオープンのスタートする週に３年連続でボランティア活動に訪れているのは、セント・ジュード小児研究医療施設です。この病院は研究と処置を通して小児の難病治療とその予防を推し進める目的で設立され、アメリカのみならず世界の各地から子供たちとその家族が訪れ、医療費支払いの心配をすることなく治療に専念している施設です。

錦織選手は今年もこの医療機関を訪れて、子供たちとその家族のためにトーナメント・ポスターとテニスボールにサインし、彼らに向けて話しかけました。錦織選手は、この施設を訪れることは彼にとってすばらしい経験で、いつもこの施設で行われている取り組みには驚嘆させられると述べました。そしてそれに続けて、子供が奮闘しているときに楽しみを提供することができることに自身も喜びを感じていること、そして彼自身も子供たちから大きなエネルギーを得ていると伝えました。



アメリカテネシー州メンフィス

アメリカにおけるボランティアの意味

アメリカでのボランティ活動は大変盛んです。それはこの国の建国の成り立ちが大きく関係し、言語、出身国、宗教などを異にする人たちがお互いに助け合って厳　しい環境と闘い、自らの共同体を作り上げてきた歴史が根底にあります。共同体では人々は必要に応じて自ら学校や病院、教会などの公的機関を設立しその運営　にあたって来ました。現在ではもちろんその機能はいろいろな面で建国当初とは違ったものになっていますが、それでも一般に自分たちの住んでいる所は自分た　ちで良くしようとする考えが今もアメリカ人の中に息づいていて、ボランティアはいまだに多くの人々にとって生活の不可欠な要素となっています。

「怪我は私に多くのものを学ばせ、私は確実に忍耐強くなりました。」

錦織選手にとってここで治療を受ける子供たちをサポートするのは、自らの人生経験を振り返る意味でも意義のあることなのかもしれません。

錦織選手は２００８年２月、１８歳の時に最初のATP　ワールドツアータイトルをフロリダ州デルレイビーチの大会でとりました。そしてこのトーナメントにエントリーした時の錦織選手のランキングは244位でしたが、次週のランキングを131位　まで上げました。その後の錦織選手は同年バミューダでもチャレンジャー大会で優勝し、ウインブルドン前哨戦のクイーンズのトーナメントではラファエル・ナダルからセットをとり世界の注目を集め、全米オープンではオープン化以降日本人初の男子シングルスでの４回戦進出を果たしました。しかしその翌年の５月に右ひじの疲労骨折が判明し手術を受けて復帰に約一年を要し、２つめのATPワールドツアータイトルを２０１２年１０月に取るまで４年以上の月日が必要でした。

錦織選手は2014年の冬、この怪我・手術後の復帰に関してのコメントをアメリカのスポーツ専門チャンネルのESPNにこう語っています。

「私はこの2つのタイトルを取る間に多くの経験を積みました。怪我は私に多くのものを学ばせ、私は確実に忍耐強くなりました。今の私は、エラーで相手に得点を与えたりしません。」

2015年のメンフィスオープンで錦織選手が見せた苦しい中でも確実に勝利を手にしていった姿は、この施設の多くの子供たちのみならず世界中の努力する人達に勇気と希望を与えたことでしょう。

ボランティアでコーチを行う選手

テネシー州メンフィス
（写真はイメージです。本文とは直接関係ありません）

Copyright© All rights reserved by Y.E.S. ESL International, JAPAN

米国大学女子サッカー部セレクションツアー

大学進学オファー・スポーツ奨学金オファー獲得 + 語学力向上に励む！

米国大学女子サッカー部セレクション

米国大学女子サッカー部セレクションは、高校卒業後に米国の大学へサッカー進学を目指す女子高校生が参加し、現地で行う地域サッカークラブでのトレーニングを通しSDSAが招待する大学サッカー部関係者に実力をアピールし、大学への入学・入部・スポーツ奨学金オファーの獲得を目指すプログラムです。

セレクションツアーは、高校卒業後の大学サッカー進学をその後の目標と定めているため、参加者は期間中に語学学校へ通い、大学進学に必要となる語学力の向上も目指します。

米国大学サッカー進学を目指す高校生が必ずクリアしなければならないのが、大学コーチからの実力判定です。高校生は、大学進学前に一度は必ず進学希望先大学のサッカー部コーチに実力を判定して頂き、そこでコーチの要求に見合う実力を示さなければなりません。

毎年各大学のサッカー部では、シーズン前となる7月から8月を中心に、サッカー部の入部トライアウトを開催しますが、そこには高校生の参加は認められていません。大学サッカー進学を目指す高校生が大学コーチから実力を判定して頂く方法として、直接大学のコーチに自身のプロモーションビデオを送付する方法もあります。実際このようにビデオを送付する高校生は毎年何百も存在し、ビデオを観てもらえる可能性も限られます。

セレクションツアーでは、参加者が地域サッカークラブでトレーニングを行うことで、大学コーチ陣から実力を判定して頂くことが出来ます。

【日程】 2015年8月23日（日）-8月29日（土）　6泊7日
*日程はご要望に合わせてカスタマイズする事も可能。

【対象】
米国大学女子サッカー進学を目指す16歳以上の女子学生。

【参加人数】
それぞれ2名～6名程度　*定員になり次第締切となります。

【滞在方法】
ホームステイ（平日2食、休日・祝日3食の食事支給あり）

【トレーニング先地域サッカークラブ】
Riptide Soccer Club

スケジュール（例）：

(日)	現地到着、ホームステイ入居
(月)	9:00AM－11:30PM　語学学校、15:00PMトレーニング
(火)	9:00AM－11:30PM　語学学校、15:00PMトレーニング
(水)	9:00AM－11:30PM　語学学校、15:00PMトレーニング SWC＆MCC 視察訪問
(木)	9:00AM－11:30PM　語学学校、15:00PMトレーニング SDSU＆Mesa 視察訪問
(金)	大学見学（SDSU 、Mesa、SWC、MCCのいずれか2校）
(土)	帰国

セレクションツアーのポイント

1. 地域サッカークラブで大学サッカー部コーチに実力をアピール！
2. 午前中は語学学校にて米国大学進学に向けた語学力の向上を目指す！
3. 現地スタッフにより厳選されたホストファミリーでのホームステイ体験！
4. 気候の良い南カリフォルニア・サンディエゴを満喫！
5. 日本人スタッフによる現地サポート！

視察訪問予定大学サッカー部（例）：

サンディエゴ・メサカレッジ

ミラコスタ・カレッジ

サウスウェスタン・カレッジ

サンディエゴ州立大学
NCAAディビジョン１

カリフォルニア州立大学
ベーカーズフィールド校
NCAAディビジョン１

Copyright© All rights reserved by Y.E.S. ESL International, JAPAN

カリフォルニア州立ポリテクニック大学ポモナ校 （NCAAディビジョン２）

カリフォルニア州ポモナ市に位置し、大学の周辺には綺麗な山々が見え、自然豊かな環境が広がっています。その静かで緑の綺麗な環境もさることながら、ロサンゼルス空港やカリフォルニアの有名なビーチであるハンティントン・ビーチ、さらにディズニーランドまでは、車で1時間以内の範囲に位置し、学業だけでなく、休日を有意義に過ごす事の出来るそのロケーションの良さも、大学の魅力の一つとしてあります。

当大学には1,000名以上の教員とおよそ22,000名以上の生徒が在籍します。1,400エーカー以上もの広大な大学キャンパス内には、スポーツ施設をはじめ、カリフォルニア州立大学26校中4番目の規模を誇る学生寮など充実した施設が完備されています。

学生寮は、1日3食付きで一ヶ月$900弱から選べ、学生にはそのお手頃な価格が魅力的であります。この学生寮は、寮滞在を義務付けらている市街出身の大学一年生を中心に、使用されます。学生には、キャンパス内で不自由なく生活できる環境が用意されています。

同校のサッカー部は、NCAA（全米体育協会）ディビジョン2に所属し、昨年度は17勝1敗2分という強さで地区ディビジョン優勝を果たしたほどの、サッカーの強豪大学です。

男子サッカー部ヨッシ・ラズ監督

サッカー部を指揮するのは、イスラエル出身のヨッシ・ラズ監督です。ラズ監督は2013年に同大学サッカー部に就任し、2年目となる2014年には早くもチームを地区ディビジョンチャンピオンに導きました。ラズ監督の指導力は全米でも高く評価されており、2012年には、全米の優秀なサッカー指導者15名にも選出されています。同監督には日本人選手の印象を以下のように述べています。

「日本人選手は技術が高く献身的であり、クイックネスや運動量にも富んでいると思います。私のチームは、バルセロナのようなポゼッションサッカーを主体としており、高い技術は勿論のこと、攻守の切り替えの早さや高い運動量を選手に要求します。これらの条件を満たす日本人選手は、私にとって非常に魅力的です。」

ラズ監督は、海外学生選手のリクルートにも積極的で、現在チームにはスペイン、イスラエル、ボスニア、メキシコ、コロンビア、ガーナなどから合計9名の海外学生選手が在籍します。

「選手のリクルートは全て私が担当しています。毎年、大学進学を控える学生選手から送られてくる山のようなメールをもとに、彼らのビデオをチェックしながら選考していきます。先日も、現高校2年生のスペイン人学生から送られてきたビデオをチェックし、確かな可能可能性を感じたので入学オファーを提示しようと検討しています。国籍関係なく、私が気に入った選手には奨学金オファーを提示する事も可能です。」

同サッカー部は今年の3月、日本から米国遠征に来る流通経済大学サッカー部との練習試合を予定しています。去年も流通経済大学とは試合を行ったそうで、その際も日本人学生選手の能力の高さを感じたそうです。

「チャンスがあれば日本人学生選手のリクルートも行っていきたいです。間近で彼らのプレーを見る事ができれば、私の場合気に入った選手にはその場でオファーを提示する事も可能ですし、選手側も私との相性もありますから、直接会って私の方針や考えを確認する必要があるのではないでしょうか。私が直接日本に行って選手の視察を行うのが、選手も渡米の手間や費用を省け、良いのですが。」

日本人選手のサッカーの実力を高く評価するラズ監督が率いるカリフォルニア州立ポリテクニック大学ポモナ校は、米国へ大学サッカー進学を目指す高校生に是非目を向けて欲しい大学です。

Copyright© All rights reserved by Y.E.S. ESL International, JAPAN

MLS のオーナーを追う！～Seattle Sounders FC ポール・アレン氏（後編）

アレン氏は、マイクロソフトを退いた後もその株を100億ドル以上所有しており、その資産はマイクロソフトの成長と共により豊かなものとなっていきました。そしてマイクロソフトの退社から3年後の1986年、アレン氏は妹のジョディーと共に投資会社「Valcan Inc.」を設立します。ここでアレン氏が着眼点を置いた先の一つにスポーツチームがありました。

Valcan Inc. の設立からわずか2年後の1988年、アレン氏はNBAチームのPortland Trail Blazersを当時70億ドルで買収し、同時にBlazersの本拠地であるRose Gardenの改築にも手を差し伸べます。Portland Trail Blazersは、アレン氏の買収時には70億ドルの価値しかありませんでしたが、2014年時には587億ドルの価値がつけられ、NBAに所属する30チームのうち12番目に価値のあるチームとなりました。

アレン氏のスポーツ界進出はまだ終わりません。1997年には、当時南カリフォルニアへのクラブ移転危機にあったNFLクラブのSeattle Seahawksを、200億ドルで買収します。

アレン氏のこの行動は、地元からNFLクラブがなくなる事に猛反発をしていたシアトル市民の心をぐっと掴む結果となり、アレン氏の買収時には経営難に陥っていたクラブも、2005年、2013年、2014年とNFLのチャンピオンシップであるスーパーボールへの進出を果たします。Seattle Seahawksには、2014年時点で1.33ビリオンドルもの価値が付けられ、チーム価値の高さは世界の全スポーツクラブの中で28位にランクインしています。（ちなみに世界一チーム価値の高いクラブは、スペインのサッカークラブReal Madridで、そのチーム価値は3.44ビリオンドルにも及びます。）

さらにアレン氏は2009年、地元シアトルに新しく設立されたMLSサッカークラブのSeattle Sounders FCの共同オーナーに就任します。Seattle Sounders FCの人気は瞬く間に浸透し、クラブ初年度を迎えた2009年時には、クラブの全ホームゲームチケットが完売。クラブの一試合あたりの平均観客動員数も、クラブ設立時から5年連続で3万人以上を記録するほど、アメリカサッカー界で圧倒的な人気を誇ります。

アレン氏のこれほどまでの成功はどこから来ているのでしょうか。その鍵を握るのは、アレン氏の多大なる慈善心だと考えられます。

アレン氏はこれまで、約1.5ビリオンドル（約1.500億円以上）もの資産を、世界の恵まれない方々への援助・寄付金として使用してきました。2014年10月には、エボラウイルスに侵され苦しむ西アフリカの人々への援助金として、100億ドルの寄付も行ってます。

「我々は今、エボラウイルスという大きな課題に直面しており、それが西アフリカで深刻な問題となっている現状も知っている。全世界をネット上でつなげる事に成功した今、それが慈善事業の促進につながればと思う。」（参考：ESPN.com）

アレン氏は自身のツイッターやメディエアを通し、世界中に、エボラで苦しむ人々の現状を伝えると共に、資金援助も募っています。リーダーとなる人間が先頭に立ち、行動する事で指針を示す。アレン氏こそ、世界を変える人間のあるべき姿であります。

（アレン氏：引用元　Forbes）

次号ニュースレターVol.21のご案内（4月中旬配布予定）

来月号は、シーズン中のクラブチームが熱戦を繰り広げている春学期中盤を過ぎる時期となりました。これまでの日本人選手の活躍やクラブチームの途中経過をご紹介します。引き続き、その他アメリカ留学情報やマーセッド・カレッジの留学生による現地情報の発信をしていきます。

Y.E.S. ESL International, Inc.

アメリカ、カリフォルニア州サンディエゴに本社を置き、州立大学付属英語学校の運営や大学のホームステイサービスを手掛ける。独自の留学プログラムで多くの留学生をナビゲートする。

留学への第一歩。

アメリカ留学に関する相談はY.E.S.にお問い合わせください。

Copyright© All rights reserved by Y.E.S. ESL International, JAPAN